
ベタなR P Gの中に入ってしまった

椎名 素一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ベタなRPGの中に入ってしまった

【Nコード】

N4945Y

【作者名】

椎名 素一

【あらすじ】

主人公はベタなRPGが好きなダメ人間。
その友達の変人が、RPGの中に吸い込まれます。
そこで、魔王倒しに行きます。

吸い込まれた（前書き）

この設定がベタだよね。

吸い込まれた

俺はベツタベタなRPGが大好きな、新高校一年生。第一志望の高校にギリギリで受かり、有頂天な気分に浸っている、ダメな人だ。

そんな俺にも一応友達と言える人が数人……いや、嘘をつきましたごめんなさい。一人です、はい。

そいつは「俺にとって変人と言われる事は、ほめられているのと同じだ!」と豪語する変態で

名は窪木夕くぼきゆうと言う。ちなみにそいつは不登校かつネクラという疎遠される属性を持っている。俺こと崇奇運命すつきうんめいはネクラで不登校になりかけである。

……「類は友を呼ぶ」とはこの事だろうか？ 自分で言ってる、もの凄く悲しくなる。

まあそれは置いて。俺はこの前ネットで面白そうなRPGを見つけた。

名前は「魔王を倒そう」……普通の人には超超超超つまらなく見えるだろう。

だがしかし、俺と夕はこの、実にベタベタそうなゲームが大好きだ。

そして一週間待って待って待ち続けた。その間夕はもちろん不登校、俺は一週間のうち三日しか行かなかった。そして……

「届いたあああつつつ!」

俺は歓喜のあまり叫びながら自室を走り回った。

母親に思いつき怒られた。

まそんな事は気にせず、すぐさま夕にメールした。

件名：届いたか？

本文：おいつ、俺のところにあのゲームが今届いたぞ。

簡潔にまとめて送信した。

すぐさま、返事が返ってきた。流石ネクラ歴五年の腕だ、速すぎるくらいの速さで返信が返ってきた。

件名：届いてるよ

本文：届いてるし、いちいちメールして来るな。

いらっ、ときたがそれもまあ仕方が無い。

なにせあいつは天才的な腕前のハッカーだからなあ。それで毎月500万は稼いでいるらしい。

そういう奴なので、邪魔はせずP〇3に「魔王を倒そう」を入れて電源を入れた。

ジジジジジジ……ガキョンツツ！！

「ぎゃああああああっつつつ！！」

お、俺のP〇3がああああつつつ！ やつべゝよ、これ母親と父親にねだりまくってやつと買ってもらえた代物だぞっ！ この野郎！と俺が心の中で発狂していると、急にガキョンという音がしなくなり、ジジジジ……

と、もとの音に戻った。

そして画面が真っ白になった途端に、俺は体が画面の中に吸い込まれていく感覚に陥った。

いや、吸い込まれている。ガチで。

「え、ええ、何何何何！？ やだよ！？ やだやだやだやだ。う……っ、うぎゃあああぁ」

結局画面の中に入ってしまった。

俺の体は落ちてゆく、もの凄い浮遊感。そして真っ暗。目を開けているのに真っ暗って、気持ち悪いよね。

そして……

ドサッ

かなり高い所から落ちたのに、全然衝撃が少なかった。なのに、足が全く動かなかった。足の指一本も動かせない。目は徐々に見えるようになってきた。

部屋の中にいたはずなのに下には土の感触があり、何かに覗き込まれている気がする。

……怖い、超怖い。だが俺も男、意を決して目を開けてみるとそこには……

犬がいた。三頭犬だった。

「……………」

声が出なかった。とりあえず、ゆっくり、ゆっくり後ずさる。だがそれに合わせて三頭犬の方も、ゆっくり、ゆっくり近づいてきた。

ゆっくり後ずさるのは無理だと思った瞬間、犬に背を向けてダッシュしていた。

体が勝手に逃げを選んでしまうのって、情けねえなあ。

って、そんな場合じゃないだろ俺！　とりあえず逃げろんだ！

「うおおおおおおお！」

俺はこのあと、俺と同じ境遇の奴に会う事になる。

吸い込まれた（後書き）

気がついた所があったら、指摘してください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4945y/>

ベタなRPGの中に入ってしまった

2011年11月17日19時34分発行